

トランプ大統領が「フクシマは3千年住めなくなる」と再三警告している。

ひび割れ等で地下水に高濃度放射性物質が流れ出しており、地下水が海に流れ出す、数十年後には一帯が死の海になる可能性があり、福島県だけでなく、日本全体で海産物のみならず、農作物も売れなくなる可能性があり隔離処置が早急に必要である。

東電は上記を隠蔽し、IAEAに40億もの破格の寄附をして、口封じをしたようですが、具体的な対策として地下水の封じ込めをして欲しいと考えています。⇒ P3

放射能に汚染された土壌は数百年の間汚染されたままで再利用は無理と分かっているが、予算獲得のために、再利用を行なおうとしている。

汚染土壌の再利用問題

先の見えない廃炉問題

デブリの取り出し、移動、保管方法が全く決まっていないのに、「福島県の将来を犠牲にして」予算獲得のために、危険で無理で無駄な作業が行われる。

提案内容

帰宅困難地域を中心とした、広範囲の封印エリアを設定し、100m海路を設定し隔離し、原発をコンクリートで固め、処理水の100年貯蔵が可能なタンクを増設し、全国の放射能汚染土壌を持ち込めるようにすべき。土地を奪われた人達には、洋上住宅を提供。

福島第一原発を封印する。 風評被害解消・住民の帰還

海岸でもブルーカーボンの海草を育成

堤防及び海水路を設置し、ブルーカーボンの海草を育成

第一水脈までを遮断する囲いを設置

(防護服エリア)

海水路

100%
(安全エリア)

100年以上処理水を貯めることができるエリアを確保し、汚染された土壌を持ち込めるエリアとする。

木造人工島の洋上住宅とは、地震や津波に強く、陸上よりもコストが安く、短納期、千年維持する。

安全の象徴
海洋都市構築

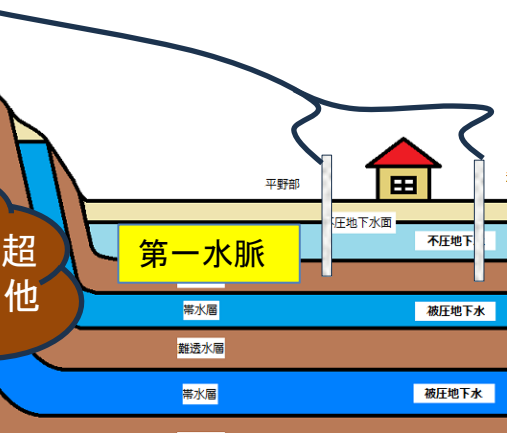
土地を奪われた人達が優先 & 超低料金で入居できるようにする。他に洋上スーパー、海中ホテル等で観光客も呼び寄せる。

+ 銀河鉄道

廃炉は現在の技術では無理。数十年後、数百年後の技術に期待し、封印する。そして、安全安心に住める環境を整える。

住民の生活第一主義に転換する。原発回りの第一水脈の地下水を遮断し、また帰還困難地域を中心とした100年以上処理水を蓄積できるエリアを確保し、放射能汚染された土壌を（他の地域の核ごみを含め）持ち込めるようにする。さらに、中ロ北朝等からの無人機やミサイル攻撃、あるいは次の超大地震や超大津波に備える必要があり、完全にエリアを隔離する。
100m幅の海水路を設定する。
エリア設定で土地を奪われる人達には洋上住宅と仕事を用意する。今まで苦労した分、「原発封印」&「洋上生活」によって、他の一般人達よりも、「海産物農業」や「ブルーカーボンの拡大」の仕事等で生活が潤い、低コスト(税金、電気代、借家代が各1/10になる)で、従来より楽しく暮らせる環境にしたいと考えています。

危険エリアを島化し封印することで、比較的近くでも、100%安全なエリアが確保される。



中ロによる海洋放水に対する共同声明がありましたが、何かの報復等で、彼らの正当化された攻撃の可能性有

詳細はG.F.のホームページ「ノアの箱舟作戦」参照

孫やひ孫たちが泳げるように

福島第一原発の隔離のイメージ (廃炉で用意した1千億を使う)

高濃度放射線観測エリアに沿って海路を作り、隔離エリアを設定する。

2035年には決着

全国からの汚染
土壌受け入れ

安全エリア

汚染土壌
の持ち込み

汚染水用タンク
の増設

高濃度
汚染海水

必要に応じ
汲み上げ

新設堤防

大熊分析・研究センター

隔離エリア

海路

廃炉でなく封印

福島第一原発

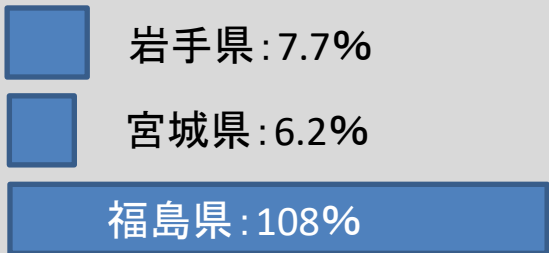
透明な屋根の設定
(海水隔離エリア)

雨による
増水対策

地下水から流れ出した
汚染水を食い止める。

災害関連死比率

岩手県の関連死割合は7.7%、宮城県の関連死割合は6.2%。福島県だけは関連死割合が108%である



(放射能被曝による死亡の
数千人が含まれる)

高濃度放射能観測エリアに沿って、30m~100m幅の海路を設定する。第一水脈をカバーする深さとし、コンクリートの壁を作り遮断する。

120m ± 1m

工場で作り、船で曳航し、沿岸部に設置する「洋上住宅ユニット」

□20mで4軒分なので、このユニットで、100軒の仮設住宅が設置できる。(津波地震に安心、海岸沿なので便利)

120m ± 1m

フレキシブル渡り廊下(側面)

コンクリートスロープ

ゴムタイヤx2(両脇)

陸側

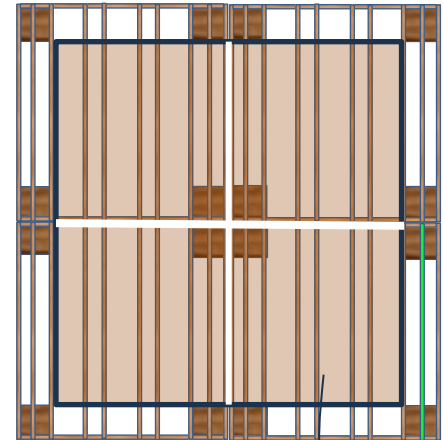
木製渡り廊下: 10~100m:
基本的に海面に浮かせる設計(しなる)
(人・自転車・バイク・小型運搬ロボ等)

木柱

密閉木箱

□20m(4軒分)x6m
(希望により二階に)

低価格(?円)短納期
(3か月)長寿命(千年)



洋上住宅

干潮時に0.1m程余裕のある位置に設定する。

ストッパー

(潮の満ち干対応)

コンクリートガイド

丸太

土地の確保不要、整地不要、基礎不要

海岸

木製渡り廊下(必要に応じて密閉木箱を付帯)

(陸側)

木造人工島の4ユニット□24mに対し、□20m(□10mの洋上住宅4軒)を海岸沿いの工場で組み立て、船で運び設置

全方位同時改革

洋上生活者を徐々に増やし、余った土地で必要な規模の「ユートピア棟(核シェルター機能付帯)」を構築する。

+「マイアバター」&「顔認証+」社会構築

人間は海から生まれた。

24時間安全に遊べる施設
ユートピア棟(仮称)

海からエネルギーと食料をもらい、
海でCO2を吸収し、海で暮らす。

多目的屋上「防球ネットを天井を含め張る」	
保育園(子供中心の遊び場): 早朝深	
大人の遊び場: カラオケ・麻雀・居酒屋	
交流広場(たまりば: 自主運営の食堂)	
18歳までの子供: (男)	18歳までの子供: (女)
元気な大人: (男)	元気な大人: (女)
元気でない大人: (男)	元気でない大人: (女)
介護を必要とする: (男)	介護を必要とする: (女)
コンビニ、コインランドリー、銭湯(24時間営業: 予約制: 2時間ごとに男女入れ替え制)	

子供食堂のイメージもある。

「誰でもが
幸せになれる
社会」構築

洋上住宅で暮らし、地震や津波等の自然災害を回避

海産物農業で、海の資源を守りながら、自給率100%

ブルーカーボンでCO2減少
社会構築(収入源↓税金0)

水車発電で全再エネ化

一月分食糧備蓄・防護服等

「核シェルターエリア」狭いながらも、インバウンド客分(予備室)を含む全戸分をバス・トイレ付帯で用意する。

海岸エリアの在住の方を中心に洋上生活を促し、海産物農業にて自給自足に近い生活をし、ブルーカーボンの収入で無税にし、波力発電で地域のカーボンニュートラルの達成と電気代を1/10にし、従来の居住エリアは「ユートピア棟(核シェルター付帯)」や地場産業の工場や商業施設や病院等、あるいは有機農業(共同作業)エリアとしたらよいと考えています。

陸



海

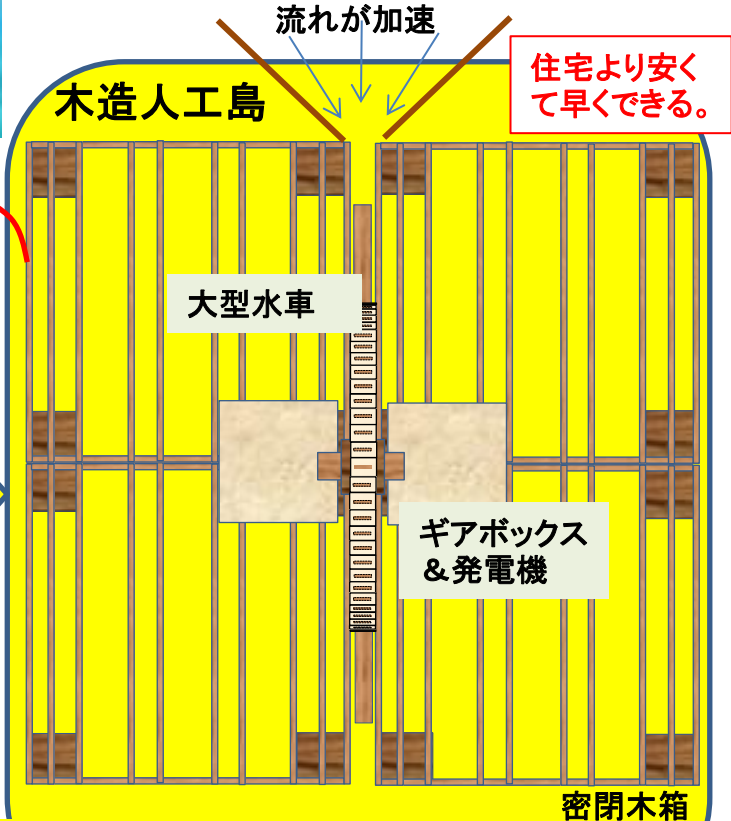
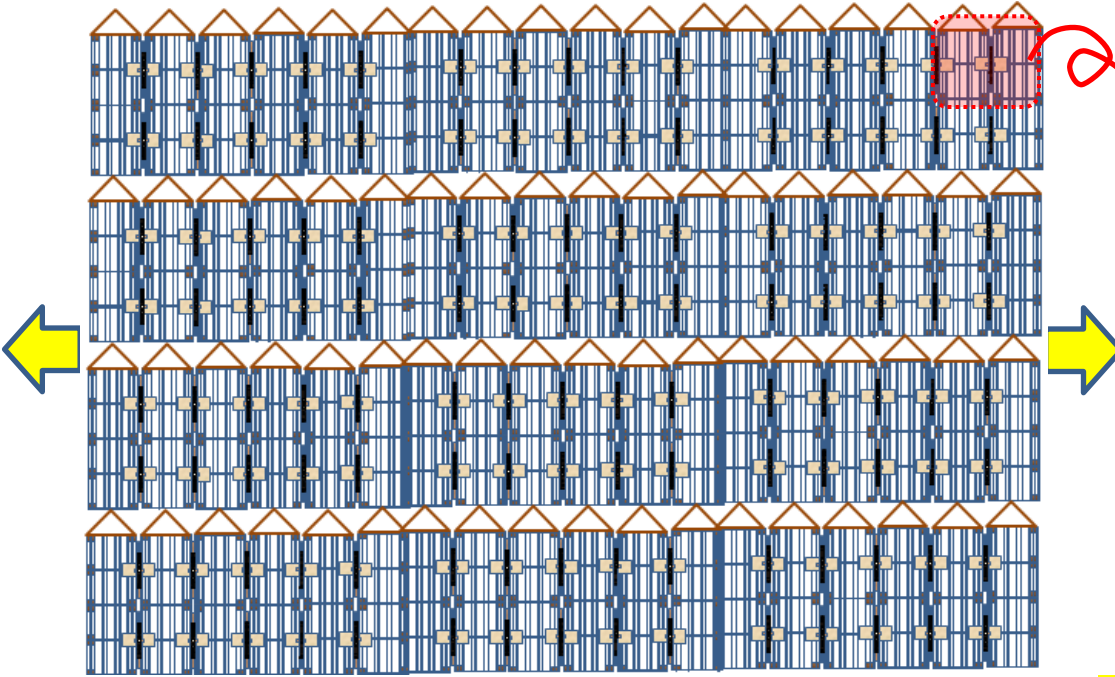
低コスト(洋上風力発電の1/200)・短納期(半年)・長寿(千年)

全ての波は海岸に向かって進みます。波の流路を狭めることで流れが加速し、大型水車を高速で回すことができます。

水エネルギーは空気の770倍、木製水車が世界を救う。

木造人工島の水車発電は、低コスト・短納期・24時間大規模発電が可能で、環境にやさしく、森林の循環に貢献する。

大規模な拡張性

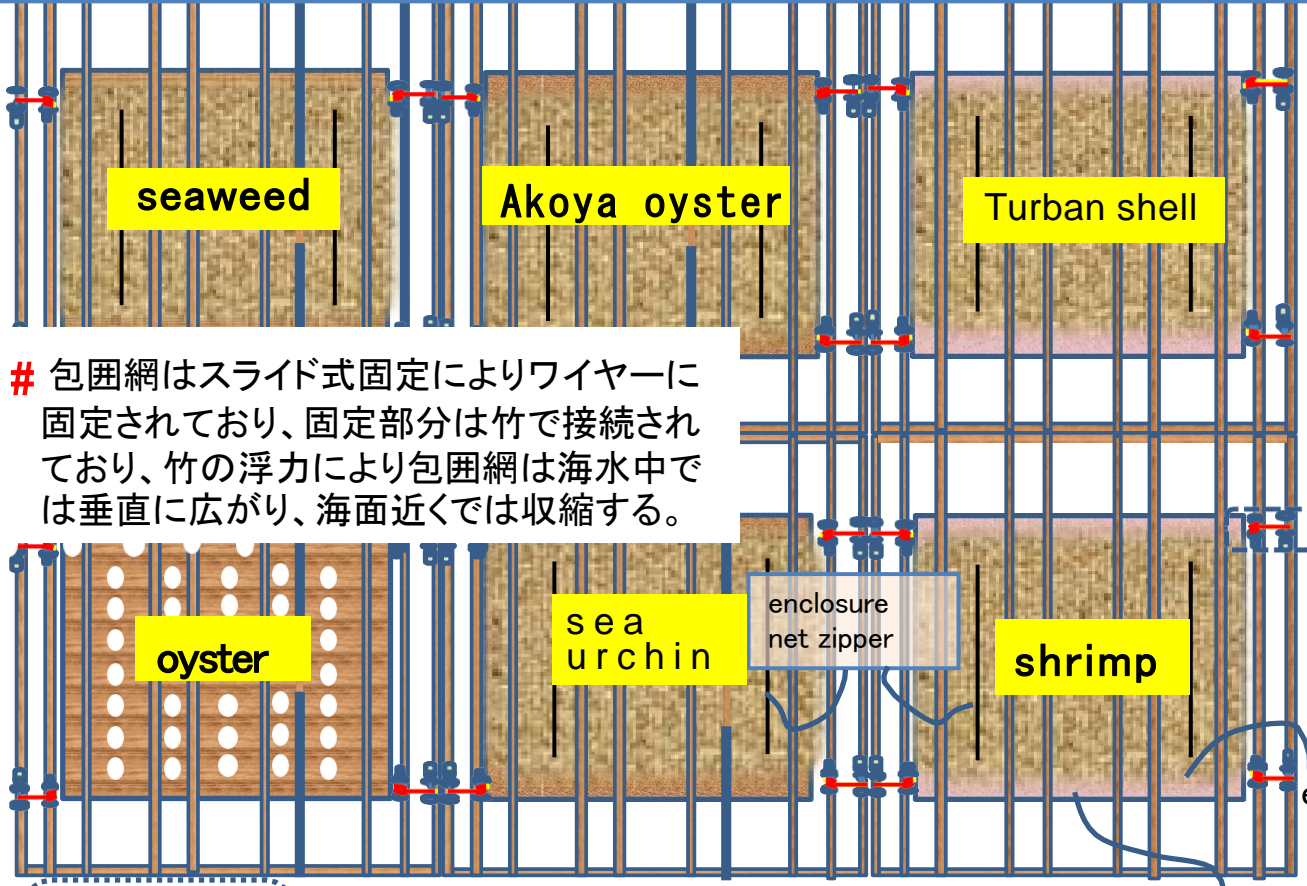


木造人工島の水車発電で、全再エネ化達成

各種養殖が可能で、世界の食糧危機も同時に救うことができます。

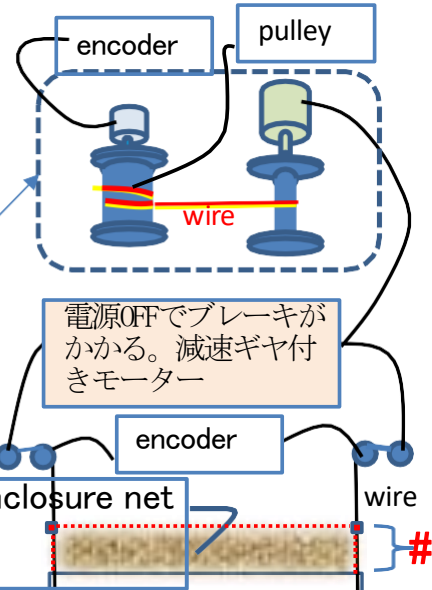
海産物農業 自給率100%

□12mの人工島ユニットの上に□8~12mの「養殖ユニット」を設置し、4本のワイヤーで吊り下げ、海水温や太陽光を考慮してAIが最適な養殖深さを制御する。



包圍網はスライド式固定によりワイヤーに固定されており、固定部分は竹で接続されており、竹の浮力により包圍網は海水中では垂直に広がり、海面近くでは収縮する。

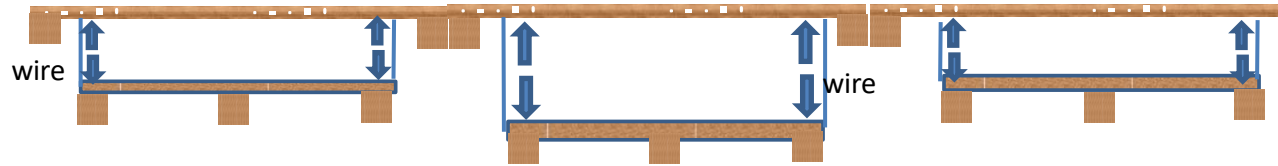
養殖ユニットを4本のワイヤーで吊り下げ、エンコーダー付きプーリーに一度通した後、モーターで巻き取ることで正確な深さ調整が可能です。



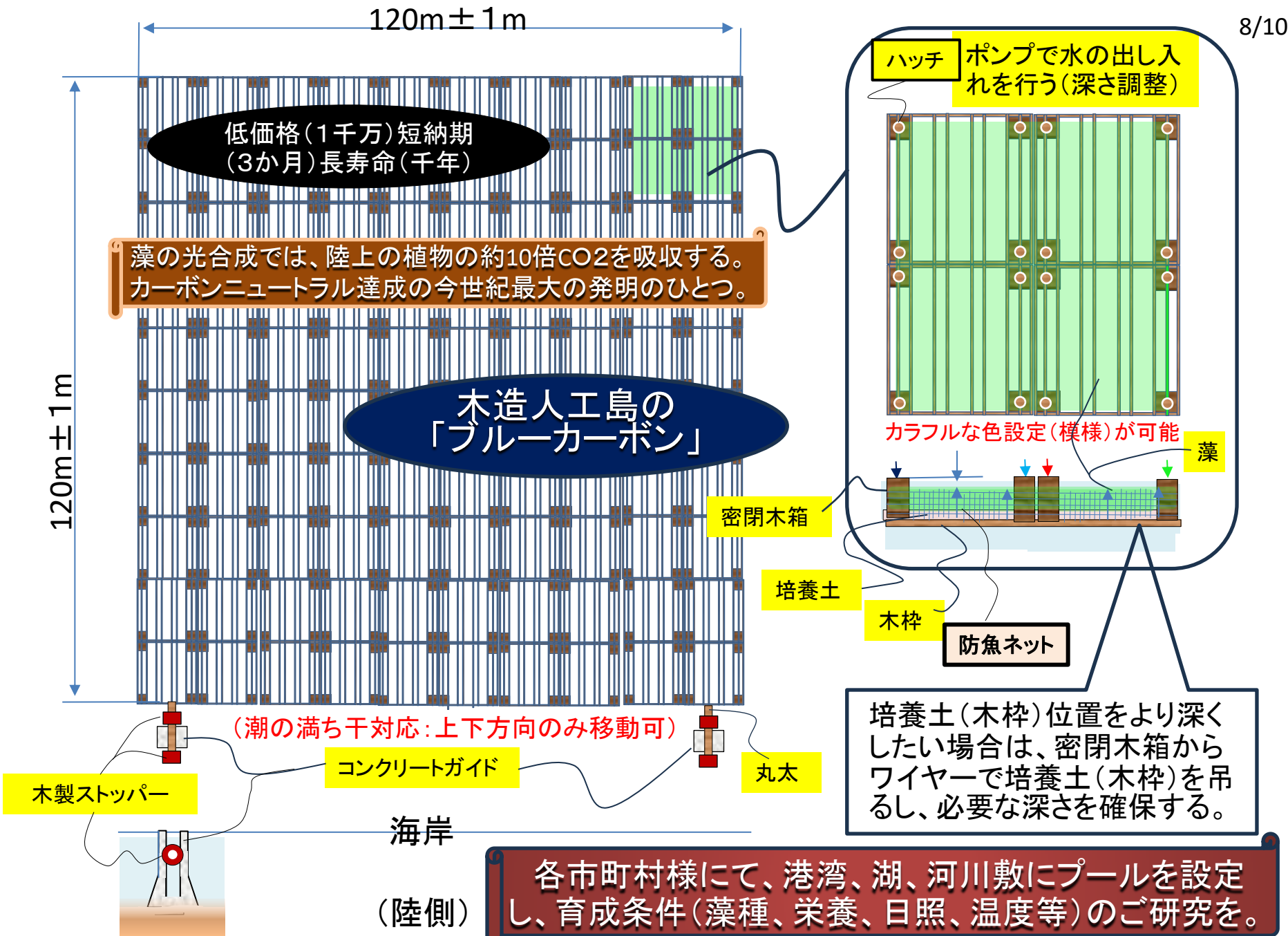
電源OFFでブレーキがかかる。減速ギヤ付きモーター



AI自動管理システム: 温度と太陽光を考慮して、最適な深さの生育条件を作り出します。



養殖管理や収穫時は海面近くで飼育するため、潜ることなく作業が可能です。

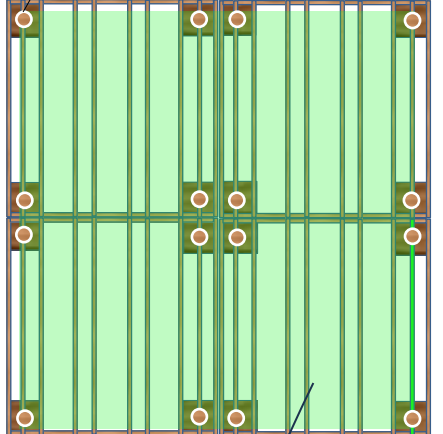


低価格(1千万)短納期(3か月)長寿命(千年)

藻の光合成では、陸上の植物の約10倍CO₂を吸収する。カーボンニュートラル達成の今世紀最大の発明のひとつ。

木造人工島の「ブルーカーボン」

ハッチ ポンプで水の出し入れを行う(深さ調整)



カラフルな色設定(模様)が可能

藻

密閉木箱

培養土

木柱

防魚ネット

(潮の満ち干対応:上下方向のみ移動可)

コンクリートガイド

丸太

木製ストッパー

海岸

(陸側)

培養土(木柱)位置をより深くしたい場合は、密閉木箱からワイヤーで培養土(木柱)を吊るし、必要な深さを確保する。

各市町村様にて、港湾、湖、河川敷にプールを設定し、育成条件(藻種、栄養、日照、温度等)のご研究を。

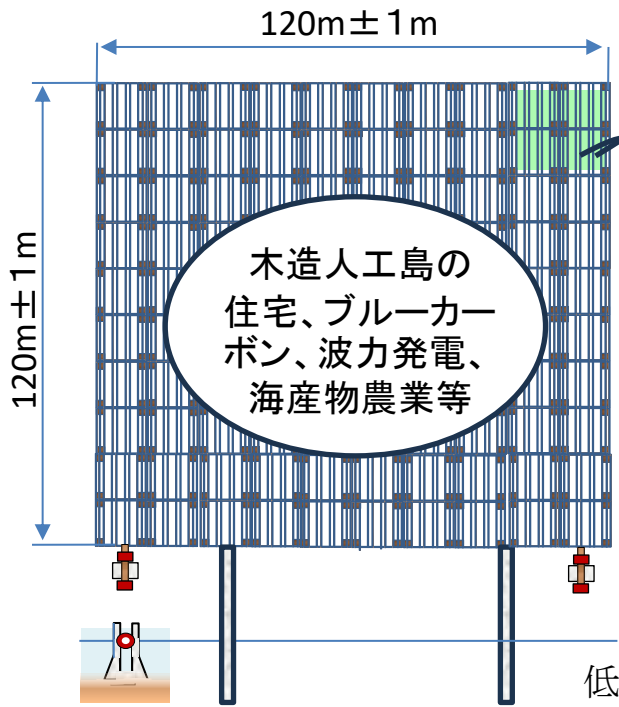
「気候変動で深刻な影響を受けている世界の島国への支援のあり方を話し合う10年に1度の国連の会議が、5月27日カリブ海の島国アンティグア・バーブーダで始まり、島国の途上国の首脳らは、気候変動によって深刻な影響を受けていると訴え、先進国に対して支援のための新たな資金拠出などより踏み込んだ対応をとるよう求めました。」

穂坂外務政務官は「しっかり支援していく」と述べられました。

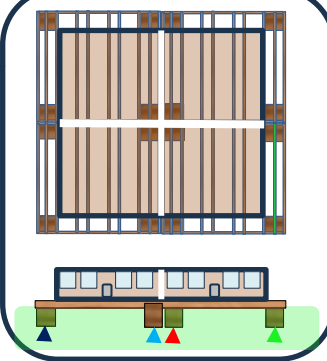


支援の内容案

国連からの資金で、日本が洋上住宅や「ブルーカーボントライアルユニット」を島国に数多く設置し、CO2吸収量に応じて国連からお金が支給される。



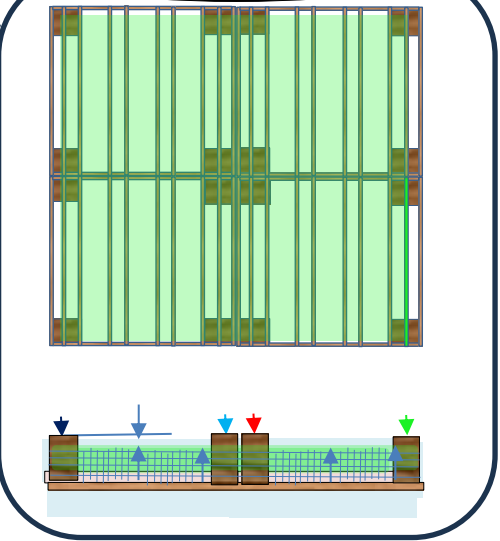
洋上住宅

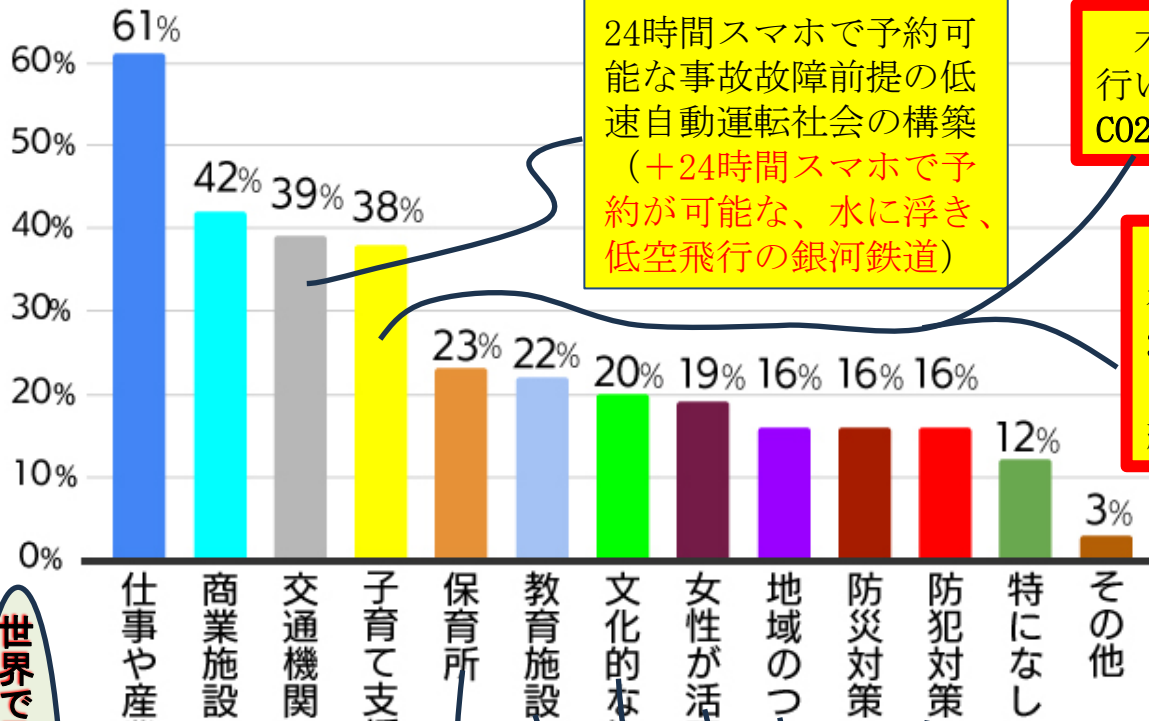


- 20m (4軒: 通路4m)
 - 10mx4mが100軒分
- 波力発電で水と電気

低価格/短納期/長寿命 (千年)

ブルーカーボン





24時間スマホで予約可能な事故故障前提の低速自動運転社会の構築 (+24時間スマホで予約が可能な、水に浮き、低空飛行の銀河鉄道)

木造人工島の水車発電で全再エネ化を行い、又木造人工島のブルーカーボンでCO2±0で電気代無料のモデル地区にする。

少子化の解消
結婚適齢期の税金や社会保険料等の負担を30年前にもどす。(フクシマの地域限定で、結婚適齢期の負担1/2)

根本に税類の負担増の貧困

フクシマに戻れない理由

一課題追求型をやめ全方位同時解決をおこなう。

木造人工島上での「誰でもが幸せになれる社会」の構築 (ユートピア棟機能、顔認証+、マイアバター社会)

全体の技術的なシナリオを作り、やれるものからやる

世界で最も住みやすいところに

海産物 農業
放水システム変更

木造人工島のブルーカーボンの製造工場 (主に木工所) 海藻の苗の製造工場等 (+水車発電の電力によるDAC工場等)

木造人工島の復興住宅100軒 (200人以上) +元の住民の帰還でスーパー&コンビニ及び各種飲食店等 (+水中ホテルや水中オフィス)

資料は「木造人工島」で検索され、ガーデンフィールドのHPの「日本再生計画」「ちさんちしょう」「木造人工島の水車発電」「カーボンニュートラルの進め方」「誰でもが幸せになる社会」をご参照。